

# 平成29年度

## 家庭教育支援員（親学習リーダー・訪問型家庭教育支援員）養成講座「初級編」（第1・2回）

日時：平成29年6月27日（火曜日）

場所：大阪府新別館南館8階大研修室

平成29年6月27日（火曜日）、大阪府新別館南館8階大研修室にて、今後新たに家庭教育支援に携わっていただく方の養成を目的に、平成29年度家庭教育支援員（親学習リーダー・訪問型家庭教育支援員）養成講座「初級編」の第1回・第2回講座（「初級編」は全10回・5日間）を開催しました。養成講座「初級編」には府内の市町村から、各教育委員会を通じて100名を超える参加申込みをいただきました。

### 【第1回講座】

講師：三川 俊樹 氏（追手門学院大学 心理学部 教授）

「役割の自覚—家庭教育支援員としての役割、活動するにあたって—」



第1回講座では、講師として追手門学院大学の三川教授を講師にお招きし、「役割の自覚—家庭教育支援員としての役割、活動するにあたって—」と題して、講演いただきました。今後新たに家庭教育支援に携わるために、家庭教育支援が必要とされた背景や、ご自身が大阪府の家庭教育支援に関わって

こられた経験から、家庭教育支援のための仕組みやポイント、成果、そして、家庭教育支援員としての役割や意識することを、実際の事例とともにお話いただきました。

参加者の方からは、「家庭教育支援員として、『指導』ではなく『支援』する立場であることや、一人で抱え込むことの問題点など



様々な点を意識することができた講座だった」という感想をいただきました。

#### 【参加者の感想】

- ・家庭教育は「すべての教育の出発点」というお話を聞き、改めてこの講習でしっかり学ぼうと思いました。また、保護者に寄り添うことの大切さ、あくまでも「支援」という基本を大切にしようと思いました。

### 【第2回講座】

① 講師：大阪府教育庁 地域教育振興課

「大阪府の現状と家庭教育支援の取組について」

大阪府の家庭教育支援をめぐる現状や傾向について、様々なデータ等を用いて説明しました。また、家庭教育支援員として活動するにあたって、知っておいていただきたい大阪府の取組、現状での課題、また、今後の方向性等についても説明しました。

② 講師：大阪府教育庁 小中学校課

「教育課題の理解と学校との連携」

いじめ、不登校といった大阪府の生徒指導における現状や課題について、様々な調査結果や実際の事例を交えながら説明がありました。小学校、中学校での問題行動の背景にある特徴や、考えられる要因についての話もあり、受講者の方も熱心に聞かれていました。また、学校との連携、支援員として必要な視点などについても説明がありました。また、「ソーシャルワークの視点」について、事例を基にしたワークショップなどもあり、学校との連携について考える機会となりました。

③ 講師：大阪府教育庁

地域教育振興課

「子ども理解について」

子どもや保護者をめぐる社会（環境）の変化等もふまえて、子ども理解について話をしました。「子どもを理解するには、子どもをより深く「知る」こと、「共感的に理解する」ことが大切であり、そのためには、「学校」「家庭」「地域」が連携しながら、子どもの育ちを見守っていく（支援していく）ことが大切だと話をしました。

